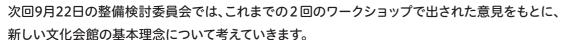


## 飯田文化会館が果たす役割とは?

7月19日の第2回ワークショップでは5つの班に分かれ、文化会館のこれまで果たしてきたもの、これから果たしたいものといった切り口から、その役割について考えました。

その中では、「市民の誇りと自信につながる場」「お茶を飲む感覚で気楽に立ち寄ることのできる場」「子どもたちが世代を越えて出会い、そこを好きになる」「これまでの伝統と新しい文化をつなげることで、特別ではなく市民の日常に寄せた機能」「都市圏に行かなくても様々な文化に触れることができる」といった意見が出されました。







### 整備検討委員長からの言葉

#### 新しい文化会館建設に向けて、市民のみなさんと一歩ずつ

新しい文化会館をつくるにあたって、この検討委員会でどんなことを行い、どんなことが話題になっているか知ってもらうことで、「自分だったらこう考える。こうなったらいいんじゃないか。」と、色んな地域の様々な年代の方々の関心を寄せていただけたらと思っています。もちろん、検討への参加も大歓迎。市民全員が納得できることは難しいかもしれないけれど、できるだけそれに近づけた「文化会館はこういう風であってほしいよね」という状態にしていきたい。市民のみなさんと一歩ずつ進んでいきたいと思います。

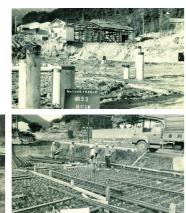


整備検討委員長 塩澤哲夫 さん

## 飯田文化会館 今昔物語 vol.1

今から50年前の1972年(昭和47年)4月29日に竣工式を迎えた飯田文化会館。建設中の写真からは、現在の周辺地域がいかに変化してきたかを感じることができます。こけら落としは花柳徳兵衛舞踊団。当時は結婚式も行われていました。







## 昔の思い出写真 募集しています

#### あなたの文化会館の思い出を、このニュースレターで紹介しませんか?

写真と一緒に、撮影年月とエピソードを書いて文化会館事務局までお持ちください(写真はコピーでも可)。写真データがある場合は、メール送付でも受け付けます。件名を「思い出の写真」と表記して、お名前と連絡先(受信可能なメールアドレス、電話番号)を必ず記名の上、お送りください。

飯田文化会館「思い出の写真係」宛

☑ ibunka@city.iida.nagano.jp

## 発行: 令和4年9月 制作: 飯田文化会館 〒395-0051 長野県飯田市高羽町5-5-1 TEL 0265-23-3552 FAX 0265-23-3533 新文化会館の整備検討に関する資料は、飯田市のWEBサイトで公開しています。 https://www.city.iida.lg.jp/ 新文化会館 検索

## TOWARD THE NEXT STAGE

みんなでつくる「新しい文化会館」の取組状況をお届けします

# 飯田文化会館 ニュースレクー



## Outline IIDA cultural hall

## 自分たちで文化を創る時代に向かって

### はじまりました! 新文化会館整備検討委員会

「舞台芸術の鑑賞と創造」「人形劇のまちづくり」の2つを柱としてきた飯田文化会館。現在の建物 が建設されてから、今年でちょうど50年が経ちます。建物・設備の老朽化や、市内にある3つのホー ルのうち飯田市公民館ホールが廃止されるなどの状況も踏まえながら、令和9年以降の着工を目 指した「新しい文化会館」建設に向けた整備検討委員会が、この6月から発足しました。

## 飯田文化会館 50年のあゆみ

飯田文化会館は、市民文化の向上と福祉の増進のため 昭和47年4月29日に開館。当初は貸館事業が中心でした が、平成元年のアフィニスセミナーの開始や人形劇フェ スタを中心とした人形劇文化の盛り上がりも大きな力と なって、市民と行政が一緒になり、自分たちで創造し活動 する場所へと、歩んできました。

1972 昭和47年 飯田文化会館 開館

1979 昭和54年 人形劇カーニバル飯田 開始

1987 昭和62年 伊那谷文化芸術祭 開始

1989 平成元年 アフィニスセミナー 開始

貸館から事業館へ

1999 平成11年 いいだ人形劇フェスタ 開始

2009 平成21年 オーケストラと友に音楽祭 開始

2018 平成30年 オーケストラと友に音楽祭10周年

オケ友将来ビジョン策定

いいだ人形劇フェスタ20周年 人形劇カーニバル飯田から通算40年

(世界フェス開催)

2022 令和4年 新文化会館整備検討委員会 発足

全国的には、行政が民間に委託して管理運営されている 施設が増えていますが、飯田文化会館は開館当初から、 飯田市が直接管理する直営方式。「市民とプロと行 政の協働関係が絶妙」という評価の声もあって、実 は特徴ある運営形態なんです!

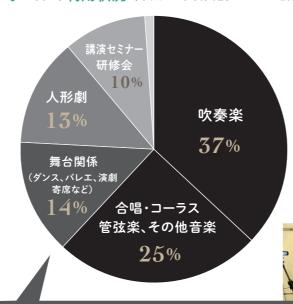


#### 飯田文化会館の利用状況

飯田文化協会をはじめとする文化団体や、市民による 様々な文化事業の実行委員会のほか、多くの団体の活動 拠点として利用されています。また、吹奏楽など地域の小 中学校の子どもたちや高校生が利用していることも特徴 となっています。

利用種別でみると、コロナ前の平成30年では、吹奏楽、合 唱・コーラス、管弦楽などの音楽関係の利用が全体の 62%。続いて、ダンス・バレエや寄席・漫才などの舞台・演 劇での利用が14%。人形劇単独で13%の利用があること は、「人形劇のまちづくり」の成果ともいえます。

#### ホールの利用状況〈平成30年度実績※コロナ前〉



今回、市民アンケートの結果からは 回答者の6割が

「文化会館を全く利用したことがない」 という課題も見えてきました。

## 整備検討委員会での ワークショップ はじまる

整備検討委員会は、文化会館の利用団体や教育・文化・福祉分 野でそれぞれ活躍する団体、公募による委員などの市民委員 と、ホール運営に携わる専門家、大学教授などの学識委員、全 19名で構成されています。委員会では、新しい文化会館の基本 理念を考えるため、まずは2回のワークショップを行いました。



**TOPICS** 

IIDA cultural hall

6/10 fri. 7/19 tue. WorkShop Vol.1,2

## 「飯田の文化」って?

6月10日開催の第1回ワークショップでは、「飯田の文化とは何か」をテーマに3班に分か れて意見交換と発表をしました。ワークショップでは、「人との関係をつくる」「地域の 人たちが学ぶ場所」「市民とプロと行政のコラボレーション」「地域の人たちが集 まって創り出すところ」「文化を主体的に受容し、暮らしと融合する」

などの意見が出され、文化会館の機能や場、

概念に関するキーワードがみえてきました。



文化を享受する場 (文化のたまり場)	活動しやすい土壌(公民館活動)	楽しむ機能	「みる」「演じる」 「ささえる」
学ぶ場所	自主活動	皆でやる文化	参加している ことが誇り
心を満たす場	関係の自立的な活動	一緒に創る	感動する
ひろば(広場)	文化を発信する場	市民が文化を 創造する	市民が使う 文化会館









7月19日の検討委員会・ワークショップの様子